

令和7年度介護人材確保対策市町村連絡会議 説明資料(11月21日)

# 介護人材確保・定着及び 介護全体の流れやトレンドについて

ライフスタイル ×  PASONA  
LIFECARE

福祉業界の転職・派遣、家事代行ならパソナライフケア

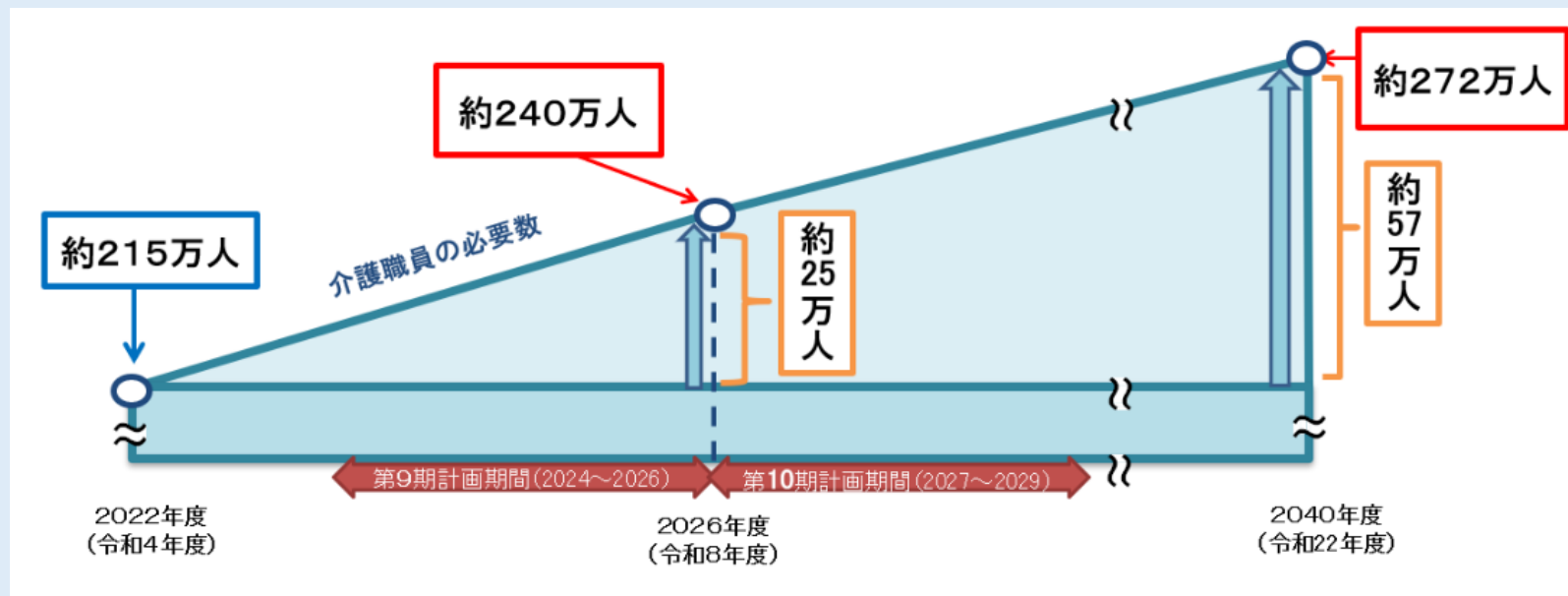


令和7年度 埼玉県介護人材確保総合推進事業・埼玉県介護職員就業定着支援事業・  
埼玉県介護職員キャリアアップ研修事業は、(株)パソナライフケアが受託運営しています。 ☎0120-121-767



## 介護全体の流れやトレンドについて①

### 介護職員の必要数



厚生労働省:「第9期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について(令和6年7月)」別紙1より抜粋

#### 目標

令和8年度までに年間平均6万人強の介護人材が必要

#### 実態

令和元年以降、年間平均5千人～3万人程度の増に留まる



## 介護全体の流れやトレンドについて②

### 自治体担当者の悩みや疑問と手引きの対応

- 介護人材確保促進の検討を行う際に、最低限おさえておくべき考え方は何か？  
⇒「サービス提供体制のあり方に関する検討の基本的な考え方」
- どんな流れ、ステップで検討を進めたらよいのか？何から着手したよいのか？  
⇒「PDCAサイクルに沿った施策検討の流れと実践のステップ」
- 第10期に向けた実態把握の取組をどのように進めたらよいのか？  
⇒「実践のステップ」の「地域の現状と今後の見通しの把握」
- 一連の検討プロセスの中で将来推計ワークシートはどのように使ったらよいのか？  
⇒「介護職員数の将来推計ワークシート」を活用した実態把握
- 都道府県は市町村にどのような関わり方をしたらよいのか？  
⇒「都道府県に期待される役割」
- 他の自治体の担当者はどのように検討を進めているのか？  
⇒「実践のイメージ」「伴走支援自治体における取組事例」

### 介護人材確保推進のための手引きの目的

各都道府県・市町村においては、介護人材の不足が生じる背景要因、検討すべき課題や取るべき施策の優先度等が異なると考えられます。そのため、全自治体が一律の方法で介護人材に関する将来推計や施策検討を行うのではなく、各自治体の置かれた状況や地域のニーズに応じた検討が必要不可欠です。



## 介護全体の流れやトレンドについて②

### 某県における介護人材確保推進のための手引き(実態把握)活用事例

#### A 訪問介護員の新規入職数の増加に取り組む事例(地域の介護事業者、養成施設学生との意見交換を実施)



地域の介護事業者

- 地域の訪問介護の仕事に興味を持っている若い方は一定数いる
- 求職者との接点がないため、自分たちの法人の特徴をアピールする機会がない
- 職場体験やインターンシップに関心があるが、自法人だけで企画する余裕がない



養成施設の学生

- 訪問介護の仕事に興味はあるが、いきなり働くのは不安なので、職場体験の機会があると嬉しい
- 法人ごとの特徴や違いが分からないので、どの法人が自分に合っているか分からない
- 既存のパンフレットやHPには求職者側が知りたいと思う情報が掲載されていない

##### 施策の 実行

求職者目線で情報提供が行われる仕組みの整備・ターゲット別の合同説明会の開催・職場体験・インターンシップの実施・法人の特徴を紹介するパンフレット等の作成の支援

#### B 施設系サービスの離職防止に取り組む事例(地域の介護事業者との意見交換を実施)



地域の介護事業者

- 仕事の負担感を理由に退職する職員が多い。
- 清掃、洗濯、シーツ交換等の身体介護以外の業務に忙殺されているケースが多い。
- 業務に忙殺された結果、ご利用者さんと接する時間も減っていてモチベーション低下につながっている。

##### 施策の 実行

介護助手を導入し、介護職員の負担軽減と「本来業務(身体介護等)」に専念できる環境の実現を目指すことを決定。



## 介護全体の流れやトレンドについて②

### 某市における介護人材確保促進の取組事例

#### 愛知県某市

現状把握・課題整理



介護人材の需要量と施設の配置率の把握  
⇒介護職員数で1,818人の需給ギャップ(不足)が判明

シミュレーションの実施



新規入職者数をどのくらい増やせばギャップを減らせるか試算  
⇒需給ギャップで22人まで減らせることが判明

課題の整理結果



介護人材供給増加の加速が必要。訪問系と通所系に的を絞った対策が必要

今後の  
取組方針

- ・エビデンス強化(調査やヒアリングにより実態把握や推計の精度を上げる)
- ・評価指標と目標値を設定
- ・周囲を巻き込む工夫(事業所や社協、民間企業など)

#### 千葉県某市

過去に実施した  
調査の再分析  
(改めての実態把握・分析)



- ・市内に介護職員が何人いるのか？毎年何人が流入しているのか？
- ・今後、中長期的に介護人材がどれくらい不足するのか？
- ・事業所の採用率・離職率の高低に影響を与えている要因は何か？

分析結果



通所系が供給過多、訪問系は500名前後不足、入所系は10年後に不足見込

現在の  
実施施策

- ・働きながら資格取得を支援する介護人材育成事業の取組
- ・介護フェアの実施
- ・外国人介護人材懇談会の開催、外国人介護人材を紹介するショート動画配信



# SAITAMA KAIGO NEXTの特徴

「介護のお仕事探しや介護職員、介護事業所をまるっと応援」する総合事業です

## ①求職者への支援



- ★未経験からチャレンジできる(介護職、介護補助職)
- ★お仕事探しをしっかりとサポート
- ★職場体験(インターンシップ)で不安を解消
- ★充実した研修内容(eラーニングの介護の入門的研修等)

## ②事業所への支援



- ★求人掲載でびったりの人材を発見
- ★就職・個別相談会で気軽にマッチング
- ★eラーニングでスキルアップ
- ★定着・キャリアアップ研修



# SAITAMA KAIGO NEXT ～市町村と連携した取組①～

## ①63市町村での「介護のお仕事就職・個別相談会」の開催

### 介護のお仕事相談会とは



SAITAMA KAIGO NEXTでは、介護の就職・個別相談会を実施します！  
相談会では、地元の介護事業所担当者と直接相談ができる就職相談会も同時開催いたします。  
ぜひこの機会にいろいろとご質問してください。

まだ就業を決めていない方、資格をお持ちでない方、アクティブシニアの方もお気軽にご参加いただけます。

求職活動参加証明書の発行も可能です！

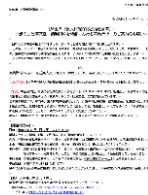
- ★エリア内の地元の介護事業所が複数集結
- ★事業所担当者と求職者が直接相談できるイベント
- ★令和7年度は63市町村内エリアで**41回**の実施計画  
→6月～10月で**20回**実施済み。11月～3月で**21回**実施予定。

### お願い事項

①広報紙スペースの確保

②事業所への周知メール送信

③相談会チラシを用いた集客活動



**9/18宮代会場**  
(宮代町・春日部市・幸手市・杉戸町合同)

**10/17蕨会場**  
(蕨市・川口市・戸田市合同)





# SAITAMA KAIGO NEXT ～市町村と連携した取組②～

## 6月～10月の相談会 経過報告

### ・相談会参加人数

→事業所205社、求職者190名  
(うち外国人5名)

### ・マッチング数 (求職者就職確認数)

→35名 (うち外国人2名)

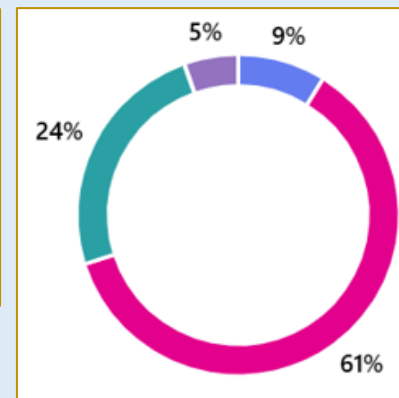
### ・求職者の介護の有資格者割合

→有資格者95名、無資格者95名

## 同 参加事業所アンケート

|         |    |
|---------|----|
| ● とても満足 | 13 |
| ● 満足    | 90 |
| ● やや不満足 | 36 |
| ● 不満足   | 8  |

約7割が満足と回答



## ②各市町村主催のイベントとのタイアップ

- ・吉川市様 8月「福祉のお仕事就職相談会」でのブース出展(1月も出展予定)
- ・草加市様 9月「みんなの認知症展」でのブース出展
- ・富士見市様(予定) 2月に高齢者福祉課様のイベントに出展予定